

CD-RW iUシリーズ

# ユーザーズガイド

I-O DATA

## もくじ

基本操作をおぼえる .....	2
インストールしたドライバの削除 .....	8
困ったときには .....	10
ミニ知識 .....	26
i・CONNECTについて .....	28

© 2002 I-O DATA DEVICE, INC. All rights reserved.  
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので  
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

CDRW-iU-P02

# 基本操作をおぼえる

本製品を使用する上でおぼえてほしいことを説明します。

## つなぎ方

パソコンの電源を入れていても切っても、本製品を接続できます。

- 1 ドライブの電源を入れます。**
  - ①ドライブにACアダプタを接続します。
  - ②ACアダプタを電源コンセントに接続します。
  - ③本製品の電源をONにします。
- 2 ドライブをUSBポートにつなぎます。**

## 取り外し方

ドライブの取り外し方は、「パソコンの電源を切って取り外す」方法と「パソコンの電源を切らずに取り外す」方法の2通りあります。

### ●パソコンの電源を切って取り外す

- 1 ドライブからディスクを取り出します。**
- 2 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。**
- 3 ドライブをUSBポートから取り外します。**
- 4 ドライブの電源を切ります。**



### 【電源連動機能】

パソコンの電源のON/OFFに連動して、ドライブの電源がON/OFFされる機能です。ただし、添付のUSBケーブルを使用し、ドライブの電源がON (|) の状態の時のみ有効です。(i・CONNECT対応オプションを使用する際は、電源連動機能は使用できません。)

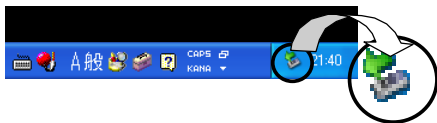
この機能により、パソコンの電源を切れば同時に、ドライブの電源も切れます。また、次回パソコンの電源を入れると同時に、ドライブの電源も入るので手間が省けます。

## ●パソコンの電源を切らずに取り外す

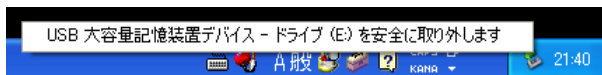
USB 2.0インターフェイスでお使いの場合は、取り外し方法が異なります。詳しくはUSB 2.0インターフェイスの取扱説明書をご覧ください。

### Windows XPの場合

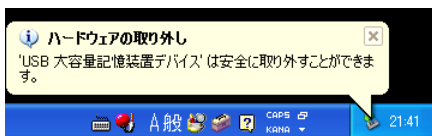
- 1 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。



- 2 表示された [USB大容量 ……] をクリックします。



- 3 [ハードウェアの取り外し]を確認します。



- 4 ドライブをUSBポートから取り外します。

- 5 ドライブの電源を切ります。



この終了手順を行わずにUSBケーブルをUSBポートから取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。



「取り外しできない」という内容のメッセージが表示された

→①使用中のソフトウェアを全て終了します。

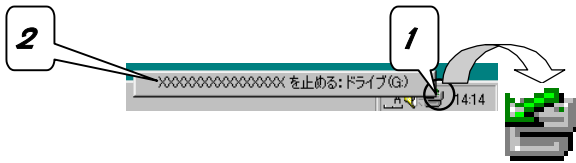
②本手順を行います。

※同じメッセージが表示されましたら、【パソコンの電源を切って取り外す】の手順を行ってください。

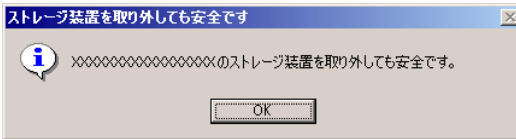
Windows Me/98の場合

**1** タスクトレイのアンプラグアイコンをクリックします。

**2** 表示された [……を止める:XXX……] をクリックします。  
(“XXX……” はドライブ名です。)



**3** [OK] ボタンをクリックします。



**4** ドライブをUSBポートから取り外します。

**5** ドライブの電源を切ります。



「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された

→①使用中のソフトウェアを全て終了します。

②本手順を行います。

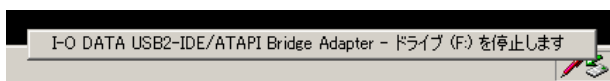
※同じメッセージが表示されましたら、【パソコンの電源を切って取り外す】の手順を行ってください。

## Windows 2000の場合

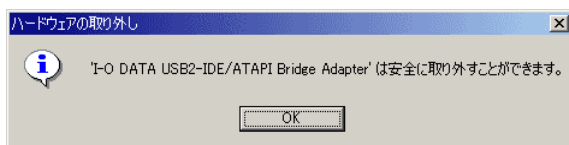
- 1 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。



- 2 表示された [I-O DATA .....] をクリックします。



- 3 [OK] ボタンをクリックします。



- 4 ドライブをUSBポートから取り外します。

- 5 ドライブの電源を切ります。



「取り外しできない」という内容のメッセージが表示された

- ①使用中のソフトウェアを全て終了します。  
②本手順を行います。

※同じメッセージが表示されましたら、【パソコンの電源を切って取り外す】の手順を行ってください。

## ディスクを入れる/出す

ディスクの入れ方/出し方をご確認ください。



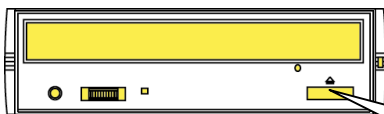
- ・ディスクを出し入れするときは、ドライブの電源をONにしてください。
- ・「本製品をパソコンにつなげた状態」かつ「パソコンの電源がONの状態」で、ディスクを出し入れしてください。
- ・ディスクに異物が付いていないことを十分ご確認の上、入れてください。異物が付いたままだと、故障の原因となります。
- ・ディスクは確実にセットしてください。確実にセットしないと、ディスクが外れ傷つく恐れがあります。
- ・トレイを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。ドライブのローディング部が破損する恐れがあります。
- ・12cmディスクを使うときは大きい円形のくぼみに、8cmディスクを使うときは小さい円形のくぼみに乗せてください。両ディスクを同時にトレイに乗せないでください。
- ・縦置き時、12cmディスク以外使用できません。
- ・ドライブが傾いていないことを確認してから、ディスクを取り出してください。（傾いた状態で取り出しを行うと、途中でディスクが内部に落下する恐れがあります。）

### 1 パソコンの電源を入れます。

CD-RWドライブの電源ランプが点灯していることをご確認ください。

### 2 前面のイジェクトボタンを押します。

自動的にトレイが出てきます。



※上の図は例です。実際と異なる場合があります。



**CD-RWドライブの電源ランプが点灯しない**

対処①：接続を確認してください。

セットアップガイド【2. つなぐ】

対処②：CD-RWドライブの電源がONになっていることをご確認ください。



**トレイが出てこない！**

⇒【困った時には】  
をご覧ください。

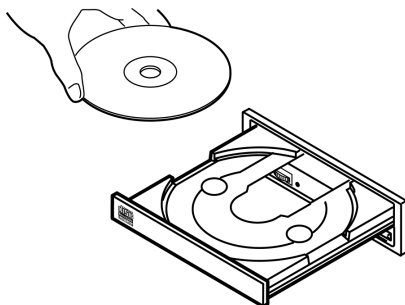
20ページ

### 3 《ディスクを入れる》

ディスクのラベル面（イラスト面）を上にして、トレイの中心にディスクをセットしてください。

### 《ディスクを出す》

記録面に触れないように、取り出してください。



### 4 イジェクトボタンを押すかトレイをかくく押しします。

自動的にトレイが閉まります。



トレイはすみやかにいれてください。

トレイがでた状態だと内部にゴミがはいり、リード/ライトエラーまたは、故障の原因となる恐れがあります。

# インストールしたドライバの削除

Windows Me/98、Windows 2000で、本製品を再びインストールする場合は、インストールしたドライバを削除（アンインストール）する必要があります。

**1** パソコンの電源を切り、USBケーブルを抜きます。

**2** Windowsを起動します。

Windows 2000の場合は、Administrator権限でログオンします。

**3** 添付のCD-ROMを挿入します。

本製品以外のドライブに挿入してください。

**4** 自動で画面が表示されますので、**[USB 2.0CCサポートソフト]**ボタンをクリックします。

自動で表示されない場合は、CD-ROMの「Autorun.exe」をダブルクリックしてください。

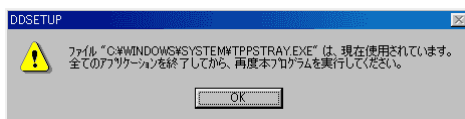
**5** **[アンインストール]**を選択し、**[OK]**ボタンをクリックします。

→このあと自動で削除されます。





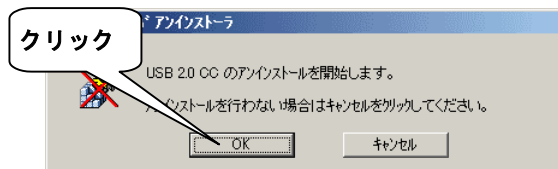
## インストールしたドライバの削除



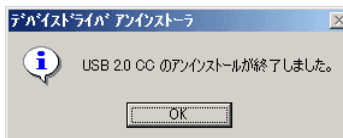
左のような画面が表示されたときは、【困った時には】をご覧ください。

11ページ

### 6 [OK] ボタンをクリックします。

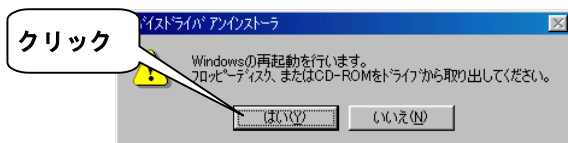


### 7 [OK] ボタンをクリックします。



### 8 挿入したディスクを抜きます。

### 9 [はい] ボタンをクリックします。



これで、ドライバは削除できました。

# 困ったときには

本製品を使用していてトラブルがあった場合をご覧ください。

## 弊社ホームページをご覧ください

サポートWebページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

<http://www.iodata.jp/support/>

製品Q & A  
Newsなど

添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

<http://www.iodata.jp/lib/>

最新  
サポートソフト

状態	参照ページ
<a href="#">インストール中や削除中にエラーが表示される</a>	11
<a href="#">インストールする前につないでしまった</a>	12
<a href="#">USBケーブルをUSBポートに接続しても認識しない</a>	13
<a href="#">ディスクを読んでいると他のUSB機器が認識されない</a>	19
<a href="#">ディスクを挿入しても反応がない</a>	19
<a href="#">ドライブの電源ランプが点灯しない</a>	19
<a href="#">ドライブのランプ（BUSYランプなど）が点灯しない</a>	20
<a href="#">ディスクが取り出せない（トレイが出てこない）</a>	20
<a href="#">音が聞こえない</a>	21
<a href="#">書き込みに失敗する</a>	24



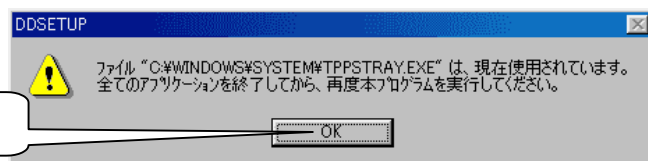
添付ソフトウェア(B's Recorder GOLD5 BASIC + B's CLiP5)のトラブルについては、オンラインマニュアルをご覧ください。  
※ソフトウェアをインストール後、[スタート]メニューの[B.H.A]内に登録されます。

## インストール中や削除中にエラーが表示される

<b>原因</b>	USB機器を接続している。
<b>対処</b>	USB機器を接続したままで、USB 2.0コンバータケーブルのインストールや削除はできません。下記の手順を行ってください。

### 1 [OK] ボタンをクリックします。

⇒エラー画面が閉じます。



USB接続のCD-ROMドライブや  
フロッピーディスクドライブ  
をお使いの場合

この方法では、作業できません。  
[次ページ](#)をご覧ください。

### 2 パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。

本製品を含む全てのUSB機器（キーボード、マウスを除く）を取り外します。

### 3 もう一度、作業を行います。

インストール中の場合はセットアップガイド【インストール】の、  
削除中の場合は【インストールしたドライバの削除】の手順を行ってください。

### ハードディスクにコピーしてインストールする

USB接続のCD-ROMをお使いの場合は、CD-ROM内の内容をハードディスクにコピーしてからインストールしてください。

- ①添付のCD-ROMをセットします。
- ②デスクトップに「新しいフォルダ」フォルダを作ります。  
デスクトップ上で右クリックし、「新規作成」→「フォルダ」の順にクリックします。⇒「新しいフォルダ」フォルダを作成します。
- ③データを「新しいフォルダ」フォルダにコピーします。
  - ①でセットしたディスク内の「USB2CC」フォルダを、「新しいフォルダ」フォルダにコピーします。  
《コピー例》
    - 1) 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
    - 2) CD-ROMアイコンをダブルクリックします。
    - 3) 「USB2CC」フォルダをクリックします。  
※CD-ROMの内容が表示されない場合は、CD-ROMアイコンを右クリックして、表示されるメニューから「開く」をクリックしてください。
    - 4) メニューから「編集」→「コピー」をクリックします。
    - 5) 「新しいフォルダ」フォルダをダブルクリックします。
    - 6) メニューから「編集」→「貼り付け」をクリックします。  
⇒「USB2CC」フォルダがコピーされます。
  - ④①でセットしたディスクを取り出します。
  - ⑤パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。  
本製品を含む全てのUSB機器（キーボード、マウスを除く）を取り外します。
  - ⑥「DDSETUP」アイコンをダブルクリックします。  
「新しいフォルダ」→「USB2CC」→「DDSETUP」の順にダブルクリックします。その後、エラー画面が表示された手順に戻り、作業を続けてください。

## インストールする前につないでしまった

**原因** 本製品をパソコンにつなぐ前に、インストールしていない。  
(Windows Me/98、Windows 2000のみ)

**対処** 以下の手順にしたがってください。

- ①パソコンから本製品を外します。
- ②インストールをします。
- ③本製品をUSBポートにつなぎます。

**USBケーブルをUSBポートに接続しても認識しない**

<b>原因 1</b>	他のUSB機器にバスを占有されている。 (弊社製USB-CCDでキャプチャしているなど)
<b>対処 1</b>	この場合すぐには、認識されません。他のUSB機器の占有が終わってから、USBケーブルをUSBポートに接続してください。
<b>原因 2</b>	USBポートによっては認識しない。
<b>対処 1</b>	接続するポートを変えてください。
<b>対処 2</b>	USBハブ接続している場合は、USBハブに接続せずに、パソコン本体のUSBポートに接続してください。
<b>原因 3</b>	正しく認識されていない。(Windows Me/98、Windows 2000のみ)
<b>対処</b>	Windows Me/98の場合は <a href="#">次ページ</a> で確認をしてください。 Windows 2000の場合は <a href="#">16ページ</a> で確認をしてください。

## Windows Me/98で確認

- 1 「システムのプロパティ」を開きます。  
[マイコンピュータ] アイコンを  
右クリックし、[プロパティ] を  
クリックします。
- 2 [デバイスマネージャ] タブをクリック  
します。
- 3 [種類別に表示] を選択します。

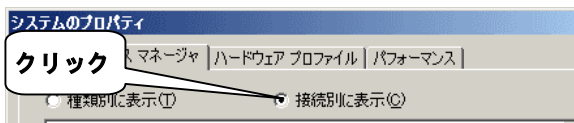


- 4 USBコントローラの名前を確認します。  
[ユニバーサルシリアルバスコント  
ローラ] の下にあるUSBコントロー  
ラの名前を確認します。

確認

ユニバーサル シリアル バス コントローラ  
Intel 82371 AB/EB PCI to USB Universal Host Controller  
I-O DATA USB2-IDE/ATAPI Bridge Adapter  
USB ルート ハブ

- 5 [接続別に表示] を選択します。



- 6 USBコントローラの名前を探します。  
手順4で確認したUSBコントローラ  
を探します。

通常USBコントローラの名前は、「～USB～Control  
ler」となっています。

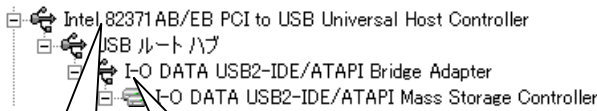


USBコントローラに [!] が  
付いている  
→パソコンまたは  
USBインターフェイスの  
取扱説明書をご覧になり、  
正常に動作するように  
してください。

表示例です。お使い  
の環境により表示内  
容は異なります。

通常、USBコントローラは、  
[PCIバス] の下にありま  
す。[PCIバス] は、[Adv  
anced Configuration and  
Power Interface (ACPI) B  
IOS] または [プラグアンド  
プレイBIOS] の下にあり  
ます。

**7** USBコントローラの下を確認します。



6 探す

7 確認



■ **【USBルートハブ】に【!】が付いている**

→パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

■ **【I-O DATA USB2-IDE/ATAPI Bridge Adapter】、または【I-O DATA USB2-IDE/ATAPI Mass Storage Controller】に【!】が付いている**

→もう一度、セットアップガイド【インストール】の手順を行ってください。

■ **【USBルートハブ】の下に何も無い**

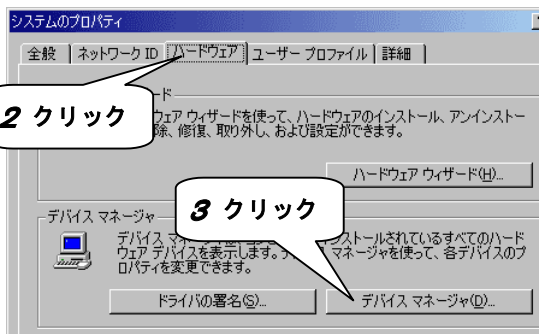
→セットアップガイド【つなぐ】をご覧になり、接続と電源を確認してください。

**8** 「デバイスマネージャ」を閉じます。

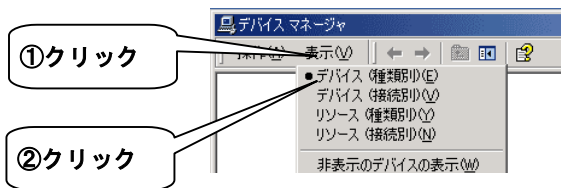
画面右上にある をクリックします。

Windows 2000で確認

- 1 「システムのプロパティ」を開きます。  
[マイコンピュータ] アイコンを  
右クリックし、[プロパティ] を  
クリックします。
- 2 [ハードウェア] タブをクリックしま  
す。
- 3 [デバイスマネージャ] ボタンをクリッ  
クします。



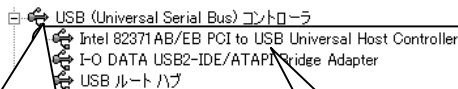
- 4 [表示] → [デバイス(種類別)] を選択  
します。





## 5 USBコントローラの名前を確認します。

- ① [USB(Universal Serial Bus)コントローラ] をダブルクリックします。
- ② その下にあるUSBコントローラの名前を確認します。



①ダブルクリック

②確認

通常USBコントローラの名前は、「～USB～Controller」となっています。

表示例です。お使いの環境により表示内容は異なります。



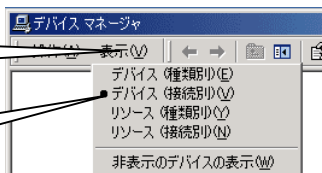
**USBコントローラに [!] が付いている**

→パソコンまたはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧ください。正常に動作するようにしてください。

## 6 [表示] → [デバイス(接続別)] を選択します。

①クリック

②クリック



## 7 USBコントローラの名前を探します。

手順5で確認したUSBコントローラを探します。

通常USBコントローラは、[PCIバス]の下にあります。

[PCIバス]は、[ACPI (Advanced Configuration and Power Interface) BIOS] または [標準PC]の下にあります。

8 USBコントローラの下を確認します。



7 探す

Intel 82371AB/EB PCI to USB Universal Host Controller

USB ルートハブ

8 確認

I-O DATA USB2-IDE/ATAPI Bridge Adapter

9 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある をクリックします。

■ 【USBルートハブ】に  
【!】が付いている

→パソコンもしくは  
USBインターフェイスの  
取扱説明書をご覧になり、  
正常に動作するようにし  
てください。

■ 【I-O DATA USB2-  
IDE/ATAPI Bridge  
Adapter】に【!】が付  
いている

→もう一度、セットアップ  
ガイド【インストール】  
の手順を行ってください。

■ 【USBルートハブ】の下  
に何も無い

→セットアップガイド【つ  
なぐ】をご覧になり、  
接続と電源を確認してく  
ださい。

## ディスクを読んでいると他のUSB機器が認識されない

<b>原因</b>	本製品がバスを占有している。
<b>対処</b>	この場合、すぐには認識されません。本製品の占有が終わってから、他のUSB機器をUSBポートに接続してください。

## ディスクを挿入しても反応がない

<b>原因</b>	他のUSB機器にバスを占有されている。 (弊社製USB-CCDでキャプチャしているなど)
<b>対処</b>	この場合すぐには、認識されません。他のUSB機器の占有が終わってから、ディスクを使用することができます。

## ドライブの電源ランプが点灯しない

<b>原因 1</b>	ドライブの電源スイッチがONになっていない場合があります。
<b>対処</b>	ドライブの電源スイッチをONにしてください。
<b>原因 2</b>	電源コード(ACアダプタ)が接続されていない場合があります。
<b>対処</b>	電源コード(ACアダプタ)がコンセントに確実に接続されていることを確認してください。
<b>原因 3</b>	ドライブが故障している場合があります。
<b>対処</b>	弊社修理係にご依頼ください。

## ドライブのランプ（BUSYランプなど）が点灯しない

**原因1** ディスクが確実に入っていないことがあります。

**対処** ディスクが確実に入っていることを確認してください。

**原因2** ケーブルなどが確実に接続されていない場合があります。

**対処** 各ケーブルの接続を確認してください。

## ディスクが取り出せない（トレイが出てこない）

**原因1** 使用中のアプリケーションで取り出し禁止している場合があります。

**対処** 使用中のアプリケーションを終了後にイジェクトボタンを押してください。（B's CLiP5が起動中の場合は、タスクトレイのB's CLiP5のアイコンを右クリックし、「取り出し」をクリックしてください。）

**原因2** トレイに何か引っ掛かっている場合があります。

**対処** 次の操作は、緊急のための操作です。むやみにご使用になると故障の原因となります。この方法で取り出せない場合は、無理に引き出さず弊社修理係にご依頼ください。

〈用意するもの〉

太さ1.3mm程度、長さ15mm以上(指で持つ部分を除く)の針金 1本

※大きめのペーパークリップを伸ばしても使用することができます。

**1** Windowsを終了し、本製品及びパソコン本体の電源を切ります。

**2** 強制イジェクトホールに針金を差し込み強く押します。

**3** トレイが15mm程度前に出るので、更に手で引き出し、ディスクを取り出します。ディスクを取り出した後、トレイをかるく押し戻してください。

## 音が聞こえない

**原因 1** ディスクが確実に入っていない。  
**対処** ディスクが確実に入っていることを確認してください。

**原因 2** ディスクが変形/破損していたり、汚れている。  
**対処** 変形/破損しているディスクは使用しないでください。また、汚れがある場合は汚れを取り除いてください。

**原因 3** 音声データが入っていないディスクを入れている。  
**対処** 音声データが入っているディスクを使用してください。



### 音楽CDの音声について

通常はアナログのオーディオケーブルやヘッドホンで接続します。

「デジタルオーディオ機能」を有効にすると、音声はデータとして扱われるため、オーディオケーブルの接続は不要になります。（デジタルオーディオ機能を有効にした場合は、アナログ信号は出力されません。また、音飛びが発生する可能性があります。）

### デジタルオーディオ機能の設定

デジタルオーディオ機能に対応しているかどうかは、以下の方法で確認してください。デジタルオーディオ機能に対応していない場合は、[27ページのミニ知識](#)（ヘッドホンやオーディオケーブルなどを接続します。）をご覧ください。

#### ●Windows XPの場合

- ①[スタート]→[マイコンピュータ]を右クリックし、表示されたメニューから[プロパティ]をクリックします。
- ②[ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。
- ③[DVD/CD-ROMドライブ]をダブルクリックして、お使いのドライブを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
- ④[プロパティ]タブに[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]という表示があることをご確認ください。
- ⑤チェックすることが可能な場合は、チェックをつけます。  
チェックできない場合は、デジタルオーディオ機能に対応していません。



### ●Windows Meの場合

- ①[マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。
- ②[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[CD-ROM]をダブルクリックしてお使いのドライブをダブルクリックします。
- ③[プロパティ]タブをクリックし、[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]という表示があることをご確認ください。
- ④チェックすることが可能な場合は、チェックをつけます。  
チェックできない場合は、デジタルオーディオ機能に対応していません。

### ●Windows 98の場合

- ①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]内の[マルチメディア]アイコンをダブルクリックします。
- ②[音楽CD]タブをクリックします。
- ③[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]という表示があることをご確認ください。
- ④チェックすることが可能な場合は、チェックをつけます。  
チェックできない場合は、デジタルオーディオ機能に対応していません。

### ●Windows 2000の場合

- ①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]内の[システム]アイコンをダブルクリックします。
- ②[ハードウェア]タブをクリックします。
- ③[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。
- ④[DVD/CD-ROMドライブ]をダブルクリックして、お使いのドライブを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
- ⑤[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]という表示があることをご確認ください。
- ⑥チェックすることが可能な場合は、チェックをつけます。  
チェックできない場合は、デジタルオーディオ機能に対応していません。

## 困ったときには

<b>原因5</b>	ケーブルが確実に接続されていない（アナログ再生）
<b>対処</b>	本製品とパソコンを市販のオーディオケーブルで接続している場合は、本製品（ヘッドホン端子）およびパソコン（LINE IN）の接続を再度確認してください。 本製品にアンプ付きスピーカーを接続している場合は、本製品（ヘッドホン端子）の接続を再度確認してください。
<b>原因6</b>	パソコンまたはOSが「デジタルオーディオ機能」に対応していない（デジタル再生）
<b>対処</b>	21ページ以降をご覧ください。「デジタルオーディオ機能」に対応しているかをご確認ください。対応していない場合は27ページのミニ知識（ヘッドホンやオーディオケーブルなどを接続します。）をご覧ください。対応している場合は「デジタルオーディオ機能」の設定をしてください。
<b>原因7</b>	音声ボリュームが「0」に設定されている。（Windows Me/98）
<b>対処</b>	①タスクバー上のスピーカアイコンをダブルクリックします。 ②[オプション]→[プロパティ]をクリックし、[表示するコントロール]で[ライン入力]にチェックを入れます。 ③[OK]ボタンをクリックし、[ライン入力]の[選択]にチェックを入れます。または、ライン入力の[ミュート]のチェックを外します。 ④ボリュームを調節します。 ⑤ウィンドウ右上の[x]ボタンをクリックし、設定ウィンドウを終了します。
<b>原因8</b>	ヘッドホンボリュームの音量が最小になっている場合があります。
<b>対処</b>	ヘッドホンボリュームの音量を上げて(右に回す)みてください。
<b>原因9</b>	ヘッドホン端子にプラグがしっかり接続されていない。
<b>対処</b>	プラグをしっかりと接続します。
<b>原因10</b>	ヘッドホンやスピーカーなどが故障している。
<b>対処</b>	他の機器で使用してみるなどして、ご使用のヘッドホンが正常か確認してください。

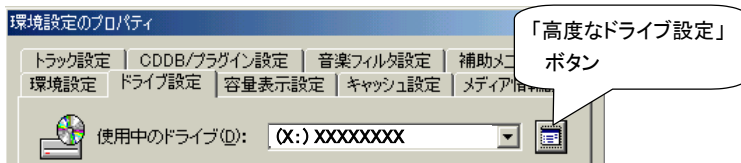
## 書き込みに失敗する

**原因 1** 推奨ディスクを使用していない。  
**対処** 添付の冊子「はじめにお読みください」の推奨ディスクをご使用ください。

**原因 2** 読み込み元に使用できないCD-ROMドライブを使用している。  
**対処** B's Recorder GOLD5 BASICが対応していないCD-ROM\*の場合は、読み込み元ドライブ（コピー元）としてご利用いただくことができません。  
 その場合は本製品を読み込み元ドライブとしてご利用ください。  
 ※\*ℓビー・エイチ・エーへ対応の有無をお問い合わせください。

**原因 3** バッファアンダーラン回避機能が機能していない。  
 （バッファアンダーラン回避機能搭載のドライブを使用している場合。バッファアンダーラン回避機能とは、BURN-ProofやJustLinkなどのことです。）

**対処** B's Recorder GOLD5 BASICでの設定  
 「環境設定」→「ドライブ設定」→「高度なドライブ設定」\*で、  
 “転送速度エラー回避機能”をONにしてください。  
 ※バッファアンダーラン回避機能が常時ONになっているドライブでは、「高度なドライブ設定」ボタンは表示されません。



**原因 4** Windows Me/98で使用していて、「ハードディスクの電源を切る」がONになっている。

**対処** ①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から[電源の管理]を起動します。  
 ②[ハードディスクの電源を切る]を[なし]にしてください。



## 困ったときには

**原因 5** USB1.1で接続している場合は、書き込み速度を以下に設定してください。

- 対処**
- ・ CD-Rメディア ----- 8倍速
  - ・ CD-RWメディア ----- 8倍速

## ミニ知識

### 【CD-R, CD-RW】

CD-Rとは、一度だけ書き込み（追記）ができるCDです。

CD-RWとは、書き込んだデータを消去し、再度書き込みができるCDです。

### 【バッファアンダーランエラー】

CDに書き込むデータは、いったんドライブのバッファメモリに蓄えられ、それからCDに書き込まれます。データ転送が不安定になり、バッファメモリ内のデータが空になると、書き込むデータが途切れ、書き込みエラーが生じます。このエラーをバッファアンダーランエラーといいます。

### 【書き込みエラー回避機能】

バッファアンダーランエラーを回避する機能です。データ転送が不安定になり、バッファメモリ内のデータが空にあると書き込みを一時停止します。データ転送が安定し、バッファメモリにデータが蓄えられると、停止していた場所から書き込みを再開します。この機能により、メディアへの書き損じを解消します。

### 【バッファメモリ】

書き込むデータを一時蓄えておくメモリです。

### 【パケットライト (PACKET WRITE)】

データを小さなかたまりに分割して書き込む方式です。フロッピーディスクやMOを扱う場合と同様に、エクスプローラなどのウィンドウでドラッグ&ドロップすることで、簡単にデータの移動やコピーをすることができます。

**【本製品で音楽CDを聞く方法】**

- ・デジタルオーディオ機能を使用します。（デジタル再生）  
詳しくは、[21ページのコラム](#)をご覧ください。
  - ・ヘッドホンやオーディオケーブルなどを接続します。（アナログ再生）  
環境に応じて接続してください。
    - ① 本製品前面のヘッドホン端子にステレオミニプラグ付きヘッドホンまたはヘッドホンステレオ用のスピーカーを接続します。
    - ② パソコンに装着したサウンドボードから再生する場合は、本製品前面のヘッドホン端子と、サウンドボードのCD IN(またはLINE IN)を市販のオーディオケーブルで接続してください。
- ※ヘッドホン、スピーカー、オーディオケーブルは本製品には付属しておりません。別途、お買い求めください。

# i・CONNECTについて

## ● i・CONNECTとは？

---

内蔵型の各種IDE/ATAPIドライブを外付型デバイスとして幅広く活用するためにアイ・オーが考案した接続用コネクタ規格です。

「i・CONNECT」搭載ドライブは別売のi・CONNECTオプションにより、「IEEE1394(FireWire, i.LINK)」接続または、「PCカード」接続ドライブとしても使用できます。

## ● i・CONNECT対応オプションの動作環境

---

弊社ホームページ (<http://www.iodata.jp/>) にて最新情報を掲載しています。

## ● i・CONNECT対応オプションのセットアップ

---

「i・CONNECT対応オプション」の取扱説明書をご覧ください。